

2021年3月期決算説明会（WEB説明会） 質疑応答議事録

日時 2021年5月20日（木） 10:30～11:30

説明者 代表取締役社長 吉貴 寛良

取締役 執行役員 経理・財務本部長 大橋 二三夫

経理部 部長 鳥山 圭一

経営企画部 部長 波切 稔和

Q1. 2021年3月期の下期の営業利益が伸びた要因は？

A1. お客様の生産台数の回復、合理化改善により営業利益が伸びた。

Q2. 2022年3月期の通期業績見通しにおける営業利益が伸びない要因は？

A2. グローバルでお客様の大きなモデルチェンジがあり、生産準備費用が発生する。また、金型設備事業の売上減少を見込んでいる。

Q3. 営業利益率3.5%をコンスタントに出していくとのことだが、今後3年間の営業利益率は横ばいの予想か？

A3. この数年、取り巻く環境の変化が大きく、研究開発費などの未来への投資が増えている。また、事業年度により設備投資額も大きく変わり、外部環境も踏まえたうえで、まずは3.5%を目指していく。

Q4. スズキの売上が上がっているが、インドでの今後の事業環境をどう考えているか？

A4. 有償支給品の高騰により、スズキの売上が伸びた。今後のインド市場の拡大には期待しているが、足元の新型コロナウイルスの影響を注意深くみていく。

Q5. SDGsの取り組みで、具体的なKPIはあるか？

A5. 昨年、専任部署を立ち上げ社内に取り組むべき重要テーマを決定した。今後はお客様とコミュニケーションをとり、具体的な取り組み・目標・マイルストーンを設定していく。

Q6. フタバ平泉に新工場を建設するとのことだが、今後も受注が見込めるのか？

A6. お客様の生産計画に応える為に、生産能力強化を目的に新工場建設を決定した。ヤリスをはじめ、今後立ち上がる車種にも期待したい。

Q7. EV化による排気系部品への影響は？

A7. この先もHV、PHVが伸びていくと予想され、2030年頃までは大きなインパクトはないと考えている。

Q8. 会社として2030年の目指す姿は？

A8. これまでは、お客様のニーズに合わせて仕事をしてきたが、技術力・組織力を高め、ニーズを先取りした提案型のビジネスができるようにしていきたい。また、グローバルで効率的な経営ができる仕組みづくりと、現地スタッフによるオペレーションを目指していく。

以上